

## 10 年前の自分に

(原文)

田中 尊 (14 歳)

埼玉県

本庄東高等学校附属中学校

はじめまして。10 年前の僕。僕、田中尊は先月 24 歳になった。今僕がいる 2030 年では「T メッセージ」通称「ティメ」と呼ばれる過去へメッセージを送ることのできる機械が発明、実用化されている。ちなみにティメは、NASA とある時計会社が協力して発明した。その理由が君ならわかるんじゃないかな。過去にメッセージを送るなんて、とても危険なことだと思うだろう。大丈夫。悪用されないように AI が送っても良い内容なのかを判断してくれる。

それでは少し、未来のことを話そう。まずは車だ。反重力装置が発明され「空」と「陸」の両方を走ることのできる車が実用化された。2 年前ぐらいかな。車の形状も大きく変化した。交通事故はほぼ無くなったと思う。

さらに、宇宙旅行も実現した。だが、ある程度筋力がないと適性がないとみなされ、宇宙には行けない。だから今のうちに鍛えておいた方がいい。絶対鍛えてくれ。

さて、ここからが本題。僕がなぜメッセージを送ったかだ。ここまで話したことだけ見ると明るい未来だと思うだろう。しかし本当にそうだろうか。未来ではほとんど自然の力を活用していない。というより、活用できなくなってしまった。人々は新しい技術や便利さに執着するあまり自然を犠牲にした。植物はほぼ絶え果てた。皆、今の暮らしに満足し、すべて「しかたなかった」で片付けてしまう。僕はずっと後悔している。自然についてろくに考えもせずに今まで生きてしまったことを。当たり前にあったものが無くなる悲しみは計り知れない。もう一度自然が見たい。自然と共存している世界が見たい。何度嘆いても、もう取り戻すことはできない。だから 14 歳の僕に頼む。こんな思いをしないよう今自分ができる精一杯の力で自然を守り、自然を愛してほしい。

話したいことは、もう一つだけある。未来では必ず、一人に一つ AI のパートナーを持つことが義務づけられている。AI はつねに人体の健康管理をして異常があれば即刻に知らせてくれる。また、1 日のプランなどを自分で考える必要がなく、その人にあった食事のメニューも全て決めてくれる。一見とても便利でありがたいことだと思ってしまうだろう。しかしこれはとても恐ろしいことでもある。人の「意志」が無くなってしまふからだ。何でもかんでも全て AI が正しい方向へ導いてくれる。失敗することはほぼ無い。人は失敗を繰り返す、成長していく。それが無いのだとしたら、どうになってしまうのだろう。人間の脳はある意味 AI に支配されてしまうと言っても過言ではないだろう。この制度は果たしてこれからの人類にとってよいことなのか、それは難しい問題だが、そんなこ

とを考える必要さえも無くなっていくのかもしれない。14歳の僕には「考える」ことを大切にしてほしい。家族や友達とでもいい。何か一つのテーマについて話し合ってみてはどうだろう。自分の意志を持ち続けて。機械に心を蝕まれないように。

最後に、このメッセージが届いたということは皮肉なことだが、つねに正しい方向へと進もうとするAIの折り紙付きということだ。安心してこの話を信じてもらっていい。さあ、未来がどうなるかは、全て君達次第だ。このメッセージを無駄にしないことを心から祈っているよ。未来をよろしく頼む。